

## 第114回(2022年10月度)監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純  
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2022年10月4日(火) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 会場(文京シビックセンター5F 区民会議室A)・オンライン(ZOOM)併用方式  
講師は会場より解説  
司会(委員長)は会場で進行  
委員は会場で運営サポート
3. テーマ 非財務情報の開示とその信頼性確保の動向
4. 講師 公認会計士 久保 恵一氏
5. 出席者 45名(会場参加9名、オンライン参加者36名)
6. 配布資料 (事前に参加予定者が監査懇話会HPからアップロードするようメールで案内)  
監査懇話会監査技術ゼミ2022年10月「非財務情報の開示とその信頼性確保の動向」公認会計士久保恵一

### 7. 議事次第

#### 1) 運営委員長より開会の挨拶

菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の久保恵一氏を紹介された。

なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者は以下の通り。

三菱電機住環境システムズ(株) 常任監査役 諏訪裕治氏  
(株)エイチワン 常勤監査役 山下和雄氏

#### 2) 講義

午後2時5分より、講師が自己紹介を行った後、資料に従い講義が行われた。途中2時58分から10分間の休憩時間を挟み、3時8分から再び資料に沿って講義が行われ、4時0分に講義が終了した。

#### 3) 質疑応答および意見交換等

講義を終了したのち、7分間をチャット記入時間にあて、4時7分から出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が活発に行われた。

質疑応答および意見交換の要旨は以下の通り。

- ・ 石油メジャーは株主から気候変動対応への厳しい視線、社外取締役の会社選任案が否決される例もあるが、このような事態をどう評価すべきか。
- ・ 金融庁の好事例紹介は各社とも内容が似通っている。開示企業が広がってくると開示内容はみな似てくるのか。取組に前向きなところと後ろ向きなところに二分化されるのではないか。
- ・ 開示内容が連結ベースなのは当然である。
- ・ 各社の開示情報を比較できる基準が不可欠
- ・ 人的資本等、開示内容が増えているが、果たして本当に投資家のニーズなのか。
- ・ 人的資本に関する開示内容としては、どのような指標が良いのか。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行うとともに、次回の監査技術ゼミは11月7日(月)に開催予定の旨案内した後、午後4時51分に閉会となった。

以上